

深江中学校だより

令和6年3月22日 第14号

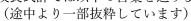
文責:校長 黒岩 洋史

【学校教育目標】

~社会に貢献できる 人間性豊かで しなやかな 生徒の育成~ 【 スローガン 】 時を守り 場を清め 礼を正す

第77回卒業証書授与式

3月14日(木)、令和5年度第77回卒業書授与式を深江体育館で行い ました。朝は少し肌寒さを感じる天気でしたが、コロナ禍前のように多くの ご来賓の皆様にご参加いただき、卒業生54名の門出を祝福することができ ました。来賓・保護者の皆様から、「いい卒業式でした | 「感動しました | 「在 校生の参加態度や歌も立派でした」など、お褒めの言葉をいただきました。 校長式辞では以下の言葉を送りました。





このように、優しく、たくましく、賢く成長した卒業生の皆さんに、私から最後の言葉を送ります。 それは、「人は人を浴びて人になる」という言葉です。「人は人との関わりの中で成長していく」という 意味のこの言葉は、先人の教えですが、私自身が日頃から大切にしている言葉で、実は、今年度の始め、 本校の先生方に、「生徒と関わる際に意識して欲しい」と伝えた言葉でもあります。

ではなぜ、卒業生の皆さんに送る言葉として選んだのか?それは、今年一年、皆さんが実際に成長する 姿を見て、正にこの言葉の持つ意味を実感できたからです。いつもそばにいて安心感を与え、厳しくも優 しく丁寧にご指導くださった素晴らしい先生方。何があっても、常に味方でいてくれた家族。いつも温か く見守り、声を掛けてくださった地域の方々。そして、互いに支え合い、励まし合いながら、どんな困難 にも一緒に立ち向かった仲間たち…。そんな人との出会いもあり、また、周りの人の人間性も浴びながら 本当に、良く成長しました。その成長の裏には、皆さん一人一人の頑張りがあったことも忘れていません。 これから先、どんな高校へ行っても、どんな職場でも、どんな地域でも、どんな国でも…人は人との関 わりの中で生きていきます。そして互いに影響し合いながら成長していきます。人に生かされ、人を生か しながら生きていくのです。「人は人を浴びて人になる」この言葉を胸に、自らの道を自らの足で力強く 歩んで欲しいと願っています。

令和5年度修了式

本日(3月22日)、令和5年度の修了式を行いました。今年度の1年間を振り返ると、昨年5月にコロナが 2類から5類に引き下げられたことが大きな転機となりました。とは言え、マスクを手放せない生活はしばら く続きました。そのような環境の中でも、生徒は「受け身・指示待ちからの脱却」に向け、様々な活動等に前向 きに取り組みました。体育大会、市中総体、合唱コンクール等の節目の行事で生徒の成長を確認できましたが、 その成長ぶりは私が想像していた以上でした。「気づき、考え、判断し、行動する」場面が増え、頼もしささえ 感じられるようになり、校長としてたいへん嬉しく、そして誇らしく思いました。そこで、修了式では、次年度 へ向けて以下のようなことを生徒へ伝えました。(途中より一部抜粋しています)

今年1年、皆さんが頑張っている姿、輝いている姿、成長した姿をたくさん見てきましたが、さらなる 成長のため、次年度、特に意識してほしいことがあります。それは、学校スローガンである「時を守り、 場を清め、礼を正す」。このことをもっと意識しながら、日頃の生活を送ってほしいということです。こ れまでもこの学校スローガンを意識しながら生活をしてきたと思いますが、今年1年で大きく成長した皆 さんは、「時を守ること」「場を清めること」「礼を正すこと」、それぞれ、更に質の高い取組にすることが できるはずだと思っています。学校スローガンではありますが、学校だけではなく、家庭や地域など学校 以外の場所でも、この取組を徹底できれば、皆さん自身にとっても、互いにとっても、人間形成や人間関 係づくりに大きく役立つはずです。是非、実践してください。

私事ですが、この度の定期人事異動により転勤となりました(異動の教職員については別途配布のプリント 参照)。今年度最後の学校だよりになると同時に、私自身が発行する「深江中学校だより」も最後となります。 私にとって、新任校長として赴任した深江中での2年間は、教職人生において、たいへん学びが多く中身の濃い ものでした。この場を借りて、保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。本当にお世話になりました。 私は深江中を離れることになり、正直、寂しい思いもありますが、今後も深江中学校の教育活動に、変わらぬ ご支援とご理解を賜りますようお願いいたします。私はどこにいても、深江を、深江中を、応援し続けます!